

- 特集① 県産品を応援しよう! ..... 3
- ボイス ..... 6
- ニュース ..... 7
- データでみるうつくしま ..... 8
- 特集② 知的探検うつくしま「もったいない運動」 ..... 9
- ちいき情報局 ..... 10
- とばんしょ、こらんしょ、福島空港! ..... 11
- 県からのお知らせ ..... 12
- 発掘! うつくしまセレクション ..... 13
- 施設のご案内 ..... 15
- 夢だよりクイズ・県政広報ガイド ..... 16



# うつくしま 夢だより

News of Fukushima

平成18年 2006 10月 1日

NO.206 隔月発行

## 世代交友

グループ紹介

### 表紙の3人

- 右 白河市 **三森 繁さん** (59歳)
- 中 **伊藤 美咲さん** (9歳)
- 左 **村上 高子さん** (47歳)

愛情なんです。  
植物から食物へ。  
そばのおいしさの原料は



かつての白河地方は、信州、出雲、盛岡とともに「日本四大そば処」と呼ばれ全国有数のそばの産地であった。  
「そばが美食としてだけでなく、健康食品としても注目され高く評価されているのがうれしい」と話すのは、白河蕎麦の会の副会長を務める三森さん。  
白河蕎麦の会は、そばを食することを楽しむ人やそば打ちに興味を持つ人などを中心に現在約20人が参加し、さらに最近では地元の高校



生などにも呼びかけ、そばの種まき、刈り取りの農業体験を実施するなど、「食育(健康な食生活を送るために、食品選択や安全性、表示の仕組み、さらには農業との関係を学ぶこと)」を活動のテーマに掲げ、地域の活性化にも取り組んでいます。  
昨年、全麹協(全国麹類文化地域間交流推進協議会)が認定する初段位を取得した村上さん。陶芸教室も主宰する村上さんは、そばの実の形をした皿を蕎麦の会会員の子どもたちに指導し制作。その皿を使って手打ちのそばを楽しんだ伊藤さんは「おいしさ2倍」と笑います。



白河蕎麦の会の皆さん 10月21日(土)・22日(日)に開催されるイベント「奥の細道 そば紀行」では実行委員会を務めます。

●連絡先/白河市旗宿白河内7-2(白河関の森公園レストラン内) ☎0248(32)2922